

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月27日

会社名 株式会社 フォレストホールディングス  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉村 恭彰  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長 (氏名)江口 竜次 (TEL) (092)477-5804  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月19日 配当支払開始予定日 2020年6月5日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	471,132	3.5	5,046	27.6	7,222	10.6	4,219	△4.6
2019年3月期	455,302	△0.3	3,953	6.0	6,528	6.1	4,424	11.7
(注) 包括利益	2020年3月期 4,578百万円 (523.3%)		2019年3月期 734百万円 (△90.9%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	122.50	—	3.7	2.9	1.1
2019年3月期	128.44	—	3.9	2.6	0.9
(参考) 持分法投資損益	2020年3月期 156百万円		2019年3月期 176百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	256,187	121,419	45.9	3,411.24
2019年3月期	248,487	117,556	45.7	3,299.00
(参考) 自己資本	2020年3月期 117,477百万円		2019年3月期 113,628百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	6,967	△223	△805	39,829
2019年3月期	213	△3,749	△718	33,890

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	—	—	20.00	20.00	688	15.6	0.6
2019年3月期	—	—	—	20.00	20.00	688	16.3	0.6

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	470,570	△0.1	4,040	△19.9	6,440	△10.8	4,270	1.2	123.99

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作したものであります。従いまして、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合がございますのでご承知おきください。

## 1. 経営成績等に関する分析

(単位：百万円未満切捨て)

	2019年3月期	2020年3月期	増減率 (%)
売上高	455,302	471,132	3.5
営業利益	3,953	5,046	27.6
経常利益	6,528	7,222	10.6
親会社株主に帰属する当期純利益	4,424	4,219	△4.6
1株当たり当期純利益	128円44銭	122円50銭	△4.6

(注) 上記金額に消費税等は含まれておりません。

### 【当期業績等の概要】

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業業績のもと景気は緩やかな回復基調で進行していましたが、2020年1月に始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な拡がりは経済の混乱を招き、今後の経済動向は全く見通しの立たない危機的状況に陥っています。

このような経営環境の下、中核事業の医療用医薬品事業は期末に新型コロナウイルス感染症の影響が多少見られたものの、スペシャリティ薬を軸として業績は堅調に推移しました。動物用医薬品及び食品等事業も3期連続で最高益を更新し、グループ全体としましては好決算で終わることが出来ました。

当事業年度の資本提携等につきましては、医療用医薬品分野において株式会社アステム（本社 大分市）が株式会社データホライズン（本社 広島市）と共同出資で7月に地域医療のコンサルティング事業を営む株式会社ブリッジ（本社 東京都文京区）を新設しました。1月には、調剤薬局に特化したシステムを開発する株式会社ファーマクラウド（本社 東京都千代田区）に出資し、調剤薬局向けの機能を拡充しました。動物用医薬品及び食品等分野では、10月に株式会社サン・ダイコー（本社 大分市）の子会社の協和化学株式会社（本社 宮崎県都城市）が株式会社ニチメン工業（本社 宮崎県都城市）を合併し、経営資源の集中を図りました。また、12月にはインドネシアで養鰻事業を展開する株式会社シンガサナ・ウナギ・インドネシア（本社 インドネシア共和国パヌワンギ県）に株式会社サン・ダイコーが当社とともに共同で追加出資を行い、生産力の増強に向けて準備を始めました。更に同月、松田商事株式会社（本社 宮崎市）の増資を引き受け、九州南部の動物薬事業の基盤の強化に努めました。一般用医薬品分野におきましては、株式会社リードヘルスケア（本社 福岡県北九州市）が3月にエイジングケア商品を開発・製造する株式会社NIL（本社 神奈川県中郡二宮町）に出資し、オリジナル商品の販売促進体制を整えました。

一方、経営管理面におきましては、働き方改革への取り組みとして勤務時間管理の厳格化、在宅勤務の試行等行いました。更に健康経営の取り組みでは、全社員の企業検診の徹底や事業所内の禁煙等が評価され、健康経営優良法人2020に認定されました。

この結果、当連結会計年度の売上高は4,711億32百万円（前期比3.5%増）、売上総利益は390億91百万円（同4.1%増）といずれも前期を上回りました。販売費及び一般管理費は340億44百万円（同1.3%増）で、営業利益は50億46百万円（同27.6%増）、経常利益は72億22百万円（同10.6%増）と増収増益となりました。税金等調整前当期純利益は66億65百万円（同0.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は42億19百万円（同4.6%減）と前期を下回りました。

部門別の業績は以下のとおりであります。

項 目	金額	構成比	前期比
売上高	471,132 百万円	100.0 %	3.5 %
医薬品等卸販売事業	470,558	99.9	3.5
その他事業	574	0.1	△10.2
営業利益	5,046	100.0	27.6
医薬品等卸販売事業	5,000	99.1	27.9
その他事業	45	0.9	0.9

(注) 上記金額に消費税等は含まれておりません。

## 【医薬品等卸販売事業】

### 医療用医薬品分野

「医療卸」への転換を目指し、社内認定資格であるMC（メディカルコミュニケーター）制度の認定試験を診断や医療機器分野にも拡げ診断・手技・処方、そして経営と幅広くお客様へ提案できるMCの育成に注力しました。また、市場を牽引するスペシャリティ薬を中心とした病院販路の強化を目指し、各エリアに「病院統括部」を設置するとともに、二次医療圏の枠組みに沿った営業組織に再編しました。地域の自治体へのアプローチも強化し各エリアの地域特性に合った提案や営業活動を行うことで、多くのエリアで高い評価をいただきました。

この結果、10月に行われた消費税増税に伴う薬価改定により市場環境が急速に冷え込む中、抗がん剤を中心としたスペシャリティ薬への取り組み等が実を結び、売上高、売上総利益ともに前年度を上回ることが出来ました。

### 医療機器等分野

販売面につきましては、高付加価値商材へのシフトや保守・メンテナンスによる売上が大きく寄与いたしました。また、前年より取り組み始めた業務改革プロジェクトの一環として医療材料オンライン発注システムPHsmos（ファスモス）のリリースや医療材料商品の品目数の集約によりコスト抑制に成功し、生産性を向上することが出来ました。

物流面におきましては、1月に医療機器等専用倉庫OWL（アウル）センターを業務委託から自社運営に切り替え、倉庫内運営費の抑制を図ると同時に、各拠点の物流業務をOWLセンターに集約することで生産性を大幅に向上することが可能となり、将来に向けての業務改革の大きな一歩を踏み出すことができました。

この結果、収益と費用のバランスが回復し、売上高・売上総利益ともに前年度を上回ることが出来ました。

### 動物用医薬品及び食品等分野

動物用医薬品分野におきましては、前期に引き続き国内市場が堅調に推移する中、新規市場の開拓やシェアの拡大で前年を上回る成果を残すことができました。加えて海外市場にも積極的にチャレンジし、新たに東南アジアでオリジナル資材の商談をスタートさせ、海外ビジネスの第一歩を踏み出しました。

食品等分野におきましては、新規開拓やお客様間での共同開発による新市場の創造等により安定した業績で推移しました。一方、医薬品や化粧品原料分野はインバウンド需要の減少等により厳しい状況で推移しましたが、輸入した原料の国内販売を積極的に展開することで新たな販路拡大に向けて取り組みを強化しました。

この結果、売上高・売上総利益ともに前年度を上回り、売上高につきましては過去最高の売上を計上し、経常利益につきましても前年度に引き続き過去最高益を更新することが出来ました。

### 一般用医薬品分野

販売面におきましては、日韓関係の悪化、新型コロナウイルス感染症によるインバウンド需要の激減や暖冬による季節商品の売上不振等厳しい経営環境で推移しましたが、大阪営業所を新たに開設し、関西エリアの営業強化に努めるとともに関東エリアの大口先の新規開拓やMR Eブランドの販売強化に注力し、前年を上回ることが出来ました。

しかしながら収益面におきましては、全国的な運賃上昇の影響によるセンターフィーの値上げ要請やお客様の営業エリアの広域展開に伴い配送コストが上昇し厳しい決算となりました。

これらの結果、医薬品等卸販売事業全体としては、売上高は4,705億58百万円（前期比3.5%増）、営業利益は50億円（同27.9%増）と、増収増益となりました。

## 【その他事業】

その他事業では、売上高は5億74百万円（前期比10.2%減）、営業利益は45百万円（同0.9%増）となりました。

## 2. 対処すべき課題

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

グループ中期経営計画「GENESYS」の最終年度に臨み、経営環境の転換期を大きなチャンスと捉え、これまでの商習慣を見直し、今後の礎を築く事業年度といたします。



医療用医薬品分野におきましては、医療費抑制政策からジェネリックの使用促進と長期収載品の減少、スペシャリティ薬を中心とした一社に限定した商品供給の進展等により市場環境の厳しさは更に増すことが予測されます。

このような課題に対し、お客様毎の取引条件を踏まえた価格交渉のあり方を見直すとともに、重症化予防、地域医療連携の推進に向けた支援活動の拡大、がんや循環器系の専門領域に特化したMC活動を強化することにより、「医療卸」としての更なる進化を目指してまいります。加えて高止まりしている販売管理費につきましては、物流コストを中心に見直し、より効率的な業務体制を構築してまいります。

医療機器等分野におきましては、地域医療構想実現に向け国主導による医療機関の再編の加速や医療費抑制の観点から様々な施策が打たれ、急性期領域でも器械案件への設備投資抑制や医療ICTなどによる技術革新が急速に進み企業間競争が激化することが予測されます。こうした課題に対し、救命救急及び手術室を中心とした各メーカー様との関係を強化するとともに医療機関への質の高い適正使用支援を行い、「医療卸」としての更なる進化を目指してまいります。

動物用医薬品及び食品等分野におきましては、生産・加工・製造・海外取引事業に取り組んでまいりましたが、今後更に6次産業ビジネスの拡大に向けて経営資源を投下してまいります。また、海外事業におきましては、原料輸入はもちろん、国内生産加工品等の海外展開の拡大に向けてグループシナジーを最大限に生かし継続して挑戦してまいります。

一般用医薬品分野におきましては、広域量販企業の収益改善及び関東、関西エリアの取引拡大を図ってまいります。更に、MREを主とするRISM商品（店舗の売上・利益を最大化する商品）の専門組織を設置し、販促活動を充実させ販売拡大に注力してまいります。また、コスト面におきましては物流コスト削減を推進するとともに業務の標準化を徹底し、更なる生産性の向上を図り、収益体制の強化に挑戦してまいります。

経営管理面におきましては、グループ経営の更なる進化を追求する一方で、長年の課題として取り組んでまいりました事業所ごとの人員定数計画の確定、高止まりしている販売管理費の適正化を実行し、次期中計の足場を固めてまいります。

現在、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい、当社グループも今まで経験をしたことのない状況を迎えております。この困難に立ち向かうためには過去の経験や概念だけでは対処できず、試行錯誤を繰り返しながら事業継続に努めてまいります。終息後は、この困難の中から得られた貴重な経験を無駄にすることなく、経営改革を推し進め、新たなフォレストグループの構築に力を注いでまいります。

### 3. 次期の業績の見通し

(単位：百万円未満切捨て)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (予想)	増減率 (%)
売上高	471,132	470,570	△0.1
営業利益	5,046	4,040	△19.9
経常利益	7,222	6,440	△10.8
親会社株主に帰属する当 期純利益	4,219	4,270	1.2
1株当たり当期純利益	122.50	123.99	1.2

(注) 上記金額に消費税等は含まれておりません。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,904	41,843
受取手形及び売掛金	94,808	93,827
電子記録債権	135	220
リース投資資産	—	19
有価証券	2,000	500
商品及び製品	29,086	32,850
その他	9,995	10,136
貸倒引当金	△695	△728
流動資産合計	171,235	178,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,278	10,863
機械装置及び運搬具（純額）	440	409
土地	19,017	18,951
リース資産（純額）	126	124
建設仮勘定	31	465
その他（純額）	802	729
有形固定資産合計	31,696	31,543
無形固定資産		
その他	870	933
無形固定資産合計	870	933
投資その他の資産		
投資有価証券	40,049	40,294
リース投資資産	—	89
長期貸付金	2,050	2,201
繰延税金資産	14	36
その他	3,299	3,212
貸倒引当金	△614	△725
投資損失引当金	△114	△67
投資その他の資産合計	44,685	45,041
固定資産合計	77,252	77,518
資産合計	248,487	256,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	114,417	116,988
電子記録債務	2,866	3,105
リース債務	56	98
未払法人税等	1,142	1,716
賞与引当金	1,031	1,031
役員賞与引当金	41	41
返品調整引当金	101	89
その他	3,164	3,187
流動負債合計	122,821	126,258
固定負債		
長期借入金	30	30
リース債務	85	317
長期前受収益	10	7
退職給付に係る負債	48	392
繰延税金負債	7,488	7,296
その他	446	464
固定負債合計	8,109	8,509
負債合計	130,930	134,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	3,859	3,859
利益剰余金	91,549	95,079
自己株式	△2,514	△2,519
株主資本合計	95,893	99,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,564	18,260
退職給付に係る調整累計額	169	△202
その他の包括利益累計額合計	17,734	18,057
非支配株主持分	3,928	3,942
純資産合計	117,556	121,419
負債純資産合計	248,487	256,187

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	455,302	471,132
売上原価	417,735	432,041
売上総利益	37,567	39,091
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	17,304	17,647
荷造運搬費	2,747	2,787
福利厚生費	3,505	3,551
減価償却費	1,525	1,471
貸倒引当金繰入額	0	27
賞与引当金繰入額	1,031	1,031
役員賞与引当金繰入額	41	41
退職給付費用	703	478
その他	6,754	7,008
販売費及び一般管理費合計	33,613	34,044
営業利益	3,953	5,046
営業外収益		
受取利息	121	115
受取配当金	692	724
受取手数料	1,062	1,073
持分法による投資利益	176	156
不動産賃貸料	183	185
貸倒引当金戻入額	26	—
投資事業組合運用益	351	—
その他	145	159
営業外収益合計	2,758	2,414
営業外費用		
支払利息	4	2
貸倒引当金繰入額	112	160
その他	67	75
営業外費用合計	184	237
経常利益	6,528	7,222



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	0	60
投資事業組合持分払戻益	543	—
投資有価証券売却益	36	337
受取保険金	—	90
投資損失引当金戻入額	51	47
<b>特別利益合計</b>	<b>631</b>	<b>535</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	16	171
固定資産圧縮損	—	57
減損損失	315	299
投資有価証券評価損	51	486
投資損失引当金繰入額	47	—
抱合せ株式消滅差損	98	—
災害による損失	—	79
<b>特別損失合計</b>	<b>529</b>	<b>1,093</b>
税金等調整前当期純利益	6,630	6,665
法人税、住民税及び事業税	2,115	2,644
法人税等調整額	△90	△324
<b>法人税等合計</b>	<b>2,025</b>	<b>2,320</b>
当期純利益	4,604	4,344
非支配株主に帰属する当期純利益	180	125
親会社株主に帰属する当期純利益	4,424	4,219

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,604	4,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,742	620
退職給付に係る調整額	△126	△382
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△4
その他の包括利益合計	△3,870	233
包括利益	734	4,578
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	612	4,542
非支配株主に係る包括利益	122	35

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,000	3,859	87,710	△2,508	92,061
当期変動額					
剰余金の配当			△585		△585
親会社株主に帰属する当期純利益			4,424		4,424
自己株式の取得				△6	△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,839	△6	3,832
当期末残高	3,000	3,859	91,549	△2,514	95,893

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	21,253	292	21,546	3,825	117,433
当期変動額					
剰余金の配当					△585
親会社株主に帰属する当期純利益					4,424
自己株式の取得					△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,689	△123	△3,812	102	△3,709
当期変動額合計	△3,689	△123	△3,812	102	123
当期末残高	17,564	169	17,734	3,928	117,556

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,000	3,859	91,549	△2,514	95,893
当期変動額					
剰余金の配当			△688		△688
親会社株主に帰属する当期純利益			4,219		4,219
自己株式の取得				△4	△4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,530	△4	3,525
当期末残高	3,000	3,859	95,079	△2,519	99,419

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	17,564	169	17,734	3,928	117,556
当期変動額					
剰余金の配当					△688
親会社株主に帰属する当期純利益					4,219
自己株式の取得					△4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	696	△372	323	13	337
当期変動額合計	696	△372	323	13	3,862
当期末残高	18,260	△202	18,057	3,942	121,419